

【野田村商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
B: 目標を概ね達成することができた(80～99%)
C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%)
D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
E: 未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		30年度
1. 地域の経済動向調査に関すること	中小企業景況調査	15社	8社	事業承継関係調査等を含め8社の実績。	B
	観光入込客数調査(月)	1回	1回	月々の入込客数を把握している1社へ照会して実施。	A
	土産品、宿泊施設の売上等調査(月)	1回	1回	取扱い店舗3社等の売上状況の調査を実施。	A
	経済研究機関誌等の分析(月)	1回	1回	岩手経済研究や小規模企業白書などから情報を収集し、経済動向の実態把握に努めた。	A
	地元金融機関との情報交換(年)	2回	1回	岩手銀行野田支店と情報交換を行った。以下の、平成29年度実績から地元金融機関では岩手銀行以外は、情報交換を希望しなかったことから、他行とは実施していない。	C
2. 経営状況の分析に関すること	ヒアリングシート回収数	50社	40社	ヒアリングシートでは、企業の状況を深掘りできないので活用せず、補助金等の申請支援や金融支援、税務支援の中からヒアリングを実施。	B
	経営状況分析に向けた巡回件数(年)	100件	193件	経営一般、金融、税務等の巡回により状況把握を実施。	A
	経営分析事業所数	40件	34件	決算、融資、補助金関係事業所	B
3. 事業計画策定支援に関すること	事業計画策定支援件数	30件	70件	金融57件、補助金13件の支援を実施。	A
	事業計画策定セミナー受講者数	6件	19件	商工会で2回実施、参加者19名	A
	持続化補助金支援事業者数	10社	6社	平成29年補正分について3件、さんりく基金2件、IT導入補助金1件の支援を実施。	C
	経営革新計画支援事業者数	1件	0件	案件無し	E
	小規模事業者経営発達支援融資制度	1件	0件	案件無し。マル経融資の実績11件	E
	創業支援相談件数	2件	3件	3件の相談。	A
	事業承継支援相談件数	2件	2件	2件の事業承継について見通しをヒアリング。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	事業計画フォローアップ延べ件数	120件	100件	100件実施。	B
	集団・個別相談会受講者数	10名	8名	講習会参加者に対し、事業計画策定後の支援を行った。	B
	マル経あっせん件数	5件	11件	マル経斡旋件数11件	A
5. 需要動向調査に関すること	物産展でのヒアリング調査(事業者数、アイテム数)	2社 5商品	1社 1商品	物産展でのヒアリング1社実施。	C
	イベントでのテストマーケティング	12商品	5商品程度	野田村プチよ市等での季節ごとの創作料理等を提供した。	C
	分析情報提供事業者数	5社	2社 1件	2社、2件実施。	C
	ホームページ等による情報提供(年)	2回	未実施		E
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	野田村ブランド商品認証数(累計)	12件	0件	認証商品の増加はなかった。	E
	コミュニティ施設活用イベント出店事業者数、売上目標額	24件 120万円	50件 70万円	「野田村プチよ市」を4月～11月で実施。売上は目標に達しなかった。	B
	物産展・商談会の情報提供	2回	2回	該当事業所に対して複数回実施。	A
	商談会参加企業数・成約数	2社 2件	2社 1件	2社が商談会参加。成約については、1社が銀河プラザでの販売会設定に結びついた。	B
	物産展参加企業数・目標売上額	2社 30万円	1件 440万円	1社が複数回参加。	B

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		30年度
地域経済の活性化に資する取組	地域懇談会の開催	1回	1回	新年興隆会を開催し、各種団体と懇談を行った。	A
	地域特産商品のブランド化	—	実施	野田村で随一産出されるマリンローズを活用した新商品開発を支援。	A
	観光ツアーの造成	1回	0回	「野田村の花・ハマナス再生プロジェクト」事業終了に伴い、観光イベント造成を終了した。	E
	地域観光情報の発信強化	—	実施	観光関連業者の情報を観光協会に提供し、情報発信に繋げた。	A
	「食」イベントでのテストマーケティング	—	実施	野田村プチよ市にて、出店事業者が新商品のテストマーケティングを実施した。	A

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		30年度
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	金融機関との情報交換会	2回+α	3回	金融公庫との情報交換会を2回実施。岩手銀行との情報交換を1回実施。	A
	税理士との情報交換会	2回	2回	2回実施。	A
	専門家からの技術習得	—	実施	さんりくチャレンジ事業での個別指導1事業所。経営革新計画策定に向けた企業ヒアリング2事業所。	A
	小規模商工会連携会議	2回	0回	集合しての会議は未実施だが、連絡は取り合い連携している。評価項目ではないが、小規模商工会が連携して合同商談会を実施した。	E
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	支援力向上のための研修受講	—	実施	岩手県商工会連合会や中小企業基盤整備機構が実施する研修会に積極的に参加した。	A
	専門家からの技術習得	—	実施	専門家派遣事業を複数回活用し、そのノウハウ吸収に努めた。	A
	支援スタッフの技術向上	—	実施	岩手県商工会連合会の実施する経営支援スタッフ研修会等に参加し、技術向上に努めた。	A
	小規模商工会連携会議	2回	0回	未実施。	E
	職員会議	12回	12回	定期的に企業支援に関する情報交換を実施した。	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	経営発達支援事業評価委員会	1回	1回	平成30年8月に実施。	A
	事務局会議	4回	4回	事務局による進捗状況の確認及び打合せは四半期に1回行った。	A
	正副会長会議	4回	4回	正副会長会議にて、事業進捗について報告・協議した。	A
	理事会	2回	3回	理事会において、事業進捗について報告・協議した。	A
	評価結果の公表	1回	0回	未実施。	E